

富加町わがまち清流の国ぎふづくり推進計画

富 加 町

富加町わがまち清流の国ぎふづくり推進計画



1. はじめに

岐阜県では、平成18年に「第57回全国植樹祭」、平成22年に「第30回全国豊かな海づくり大会」、平成24年に「第67回国民体育大会」「第12回全国障害者スポーツ大会」が開催されました。

なかでも、47年ぶりに岐阜県で開催された「第67回国民体育大会」は、「輝け はばたけ だれもが主役」の合言葉と、マスコットキャラクター「ミナモ」の活躍もあり、県民誰もが大会を意識して県内全体が活気づき、大変な盛り上がりを見せました。

この盛り上がりは、地域の人々が自分たちの住んでいる地域の良さを実感し、郷土愛の醸成に繋がりました。

この成果を継承して、「住みよい地域づくり」と「全国に発信できる魅力づくり」に発展させることが、「わがまち清流の国ぎふ」をつくり、地域の人々の幸福に繋がるでしょう。



2. 概要

富加町は、面積の約30%が山林、17%が田んぼといった、田舎の風景が多くを占めるまちで、川浦川・津保川といった、美しい山々を水源とする清流があります。

また、平成24年に開催された、「第67回国民体育大会ぎふ清流国体」においては、デモンストレーションとしてのスポーツ行事「グラウンド・ゴルフ」や地域のお宝をデザインした大きな旗をボランティアの皆さまによって作製する「ぎふとフラッグ制作」、「富加町炬火リレー」などが開催されました。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事「グラウンド・ゴルフ」では、子どもから高齢者まで県内から約400人もの選手が集まり、元気でいきいきとした姿が見られました。運営においても、多くの選手に楽しんでいただこうと、県内組織と町内の組織が連携し、活力ある姿が見られました。

「ぎふとフラッグ制作」では、地域のお宝のデザインを募集し、ボランティアによるワークショップを組織して作製し





ました。自分たちの地域の良いところを探し、大きな旗を作製してその魅力を発信することで、参加した皆さまの一体感が生まれました。

「富加町炬火リレー」では、40人ものランナーが「炬火」と「ぎふとフラッグ」をリレーして繋ぎました。開会式から、沿道での応援まで多くの人が係わり、富加町内4.5kmを駆け抜けました。

3. 基本理念と目的

本計画は、ぎふ清流国体を契機として生まれた、郷土愛の醸成、地域の魅力発信、スポーツへの関心の高まりなどの成果を継承していくことを基本理念とします。

そして「郷土愛の醸成」「地域の魅力発信」「運動を通じた健康づくり」を基本方針としてまちづくりを推進することで、岐阜県の示す「清流の国ぎふづくり」と、富加町第4次総合計画の目指す「みどりとふれあい豊かな住みよいまち とみか」を実現することを目的とします。

ぎふ清流国体の成果（基本方針）

- ・郷土愛の醸成
- ・地域の魅力発信
- ・運動を通じた健康づくり

継承

岐阜県 清流の国ぎふ憲章

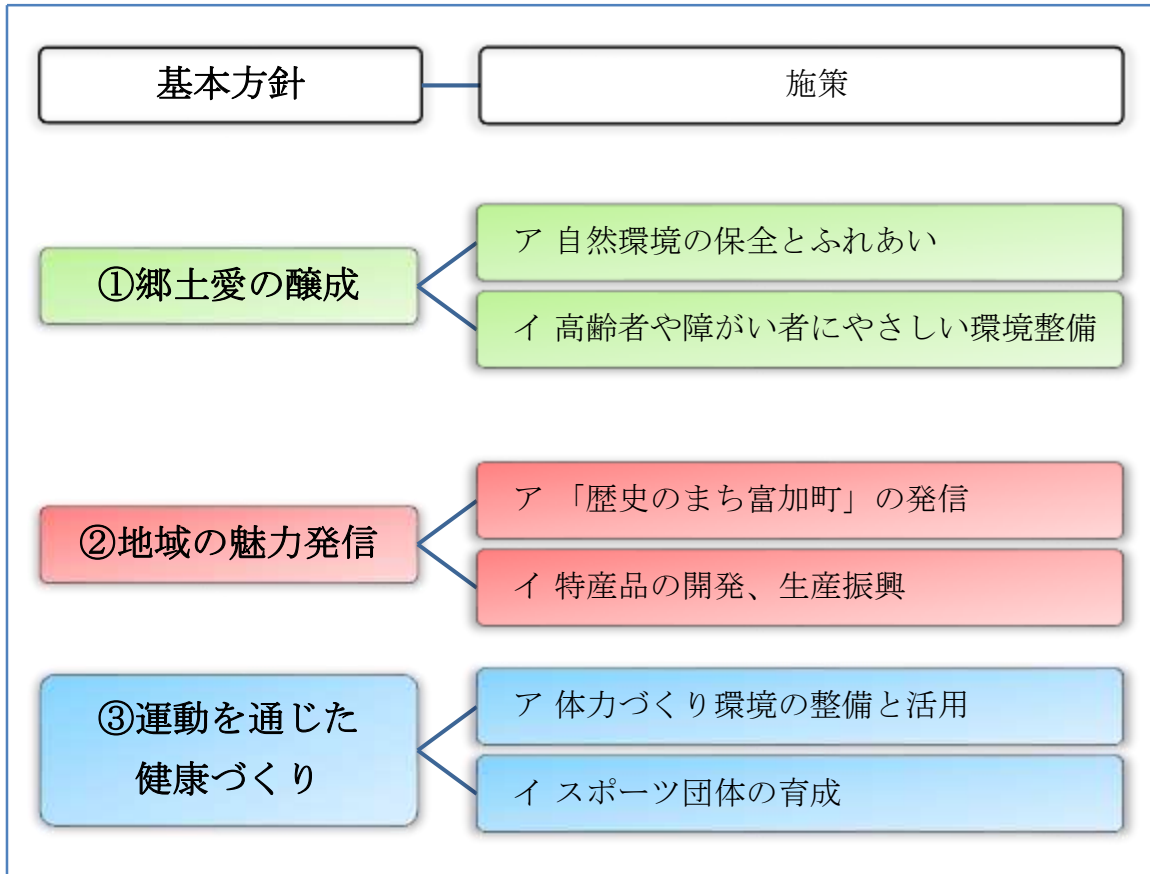
- 知 清流がもたらした 自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます
創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな想像と発信に努めます
伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

富加町第4次総合計画

「みどりとふれあい豊かな住みよいまち とみか」

4. 計画期間と具体的な取組

- ・計画期間：平成27年度～平成32年度
- ・具体的な取組内容



①郷土愛の醸成

ア 自然環境の保全とふれあい

- ・富加町半布ヶ丘公園の「ふれあいの森」には遊歩道が整備され、沢山の樹木や昆虫、小鳥などの豊かな自然とふれあうことができます。
- ・町内を流れる「津保川」や「川浦川」では、川遊びや魚釣りをして清流に親しむ姿が見られます。
- ・こういった清流や里山、動植物等の自然環境を貴重な財産、資源として保全し後生に残します。



半布ヶ丘公園
保育園ドングリ拾い

- ・自然とふれあえる場を整備・活用することで、「自然豊かなふるさと」という思いを育てます。

イ 高齢者や障がい者にやさしい環境整備

- ・超高齢化社会に向け、多くの方が安心して地域で暮らせるように、高齢者や障がい者に配慮した公共施設の整備をします。
- ・高齢者等の生きがい活動や交流の場を支援します。



清流 津保川

②地域の魅力発信

ア 「歴史のまち富加町」の発信

- ・富加町は、約 1300 年前に作られ奈良正倉院に残されていた日本最古の戸籍「大宝二年御野国加毛郡半布里戸籍」ゆかりのまちで、戸籍からは 1300 年前の暮らしを伺うことができます。
- ・富加町は古墳の密集地でもあり、町内には 51 基の古墳が確認されています。その中の 1 つ夕田茶臼山古墳は、近年の発掘調査により東海地方最古の古墳であることが判明し、貴重なものであることがわかりました。
- ・また、国重要文化財の「木造十一面観世音菩薩坐像」や、江戸時代から酒造業を営み続けている「松井屋酒造場」、坂上田村麻呂が教えたと伝えられている「田の神祭」など、富加町には歴史にまつわるものが多くあります。
- ・その歴史的資源を観光資源として整備・活用し、自然と歴史が調和した富加町の魅力を積極的に発信します。



東海地方最古の古墳
夕田茶臼山古墳



松井屋酒造

イ 特産品の開発、生産振興

- ・富加町では、「大宝二年御野国加毛郡半布里戸籍」の時代に作られていた古代米を再現した、「黒米」や、「トミちゃん南瓜」など、町の特産として取り組んでいる農産物があります。

- ・その農産物等を活用した、特産品開発や生産振興を推進します。

③運動を通じた健康づくり

ア 体力づくり環境の整備と活用

- ・富加町半布ヶ丘公園には、野球やソフトボールができる多目的広場やテニスコート、体育室、武道場、上屋付きプールがあります。町内3つの公民館には、体育室が整備されています。また、国道418号沿いには、往復約4kmのウォーキングロードが整備されています。
- ・平成23年からは、高齢者の介護予防を目的に、パワーリハビリテーションのトレーニング機器を導入し、教室を開催するほか、一般の高齢者の方にも開放して、健康づくりに活用しています。
- ・このように富加町はこれまで、スポーツを通じた健康づくりに積極的に取り組んできましたが、今後の超高齢化社会や健康づくりに対する意識の向上のため、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に運動できる環境の充実を図ります。



トミちゃん南瓜プリン
試食会



いきいきトレーニング



国道418号
健康ウォーキングロード

イ スポーツ団体の育成

- ・誰もがスポーツに親しみ、いきいきとした生活ができる様にスポーツ団体の活動を支援して、スポーツ人口の拡大を図ります。

5. 計画の推進と見直しについて

本計画は、「岐阜県清流の国地域振興補助金交付要綱（平成25年4月23日制定）」、第1条・第2条の規定に基づいて策定したものです。

本計画に基づく事業の実施にあたっては、岐阜県が推進する「清流の国づくり」と連携し、必要に応じて岐阜県の支援等を受けて実施していきます。

また、事業の進捗状況や社会情勢の変化等によって、計画の見直しや修正を行います。



平成26年11月7日

富加町

〒501-3392 加茂郡富加町滝田 1511

富加町総務課企画グループ

TEL 0574-54-2111